 JAレーク伊吹 経済部 営農企画課
TEL 0749-63-2101 FAX 0749-64-2085

今月の話題

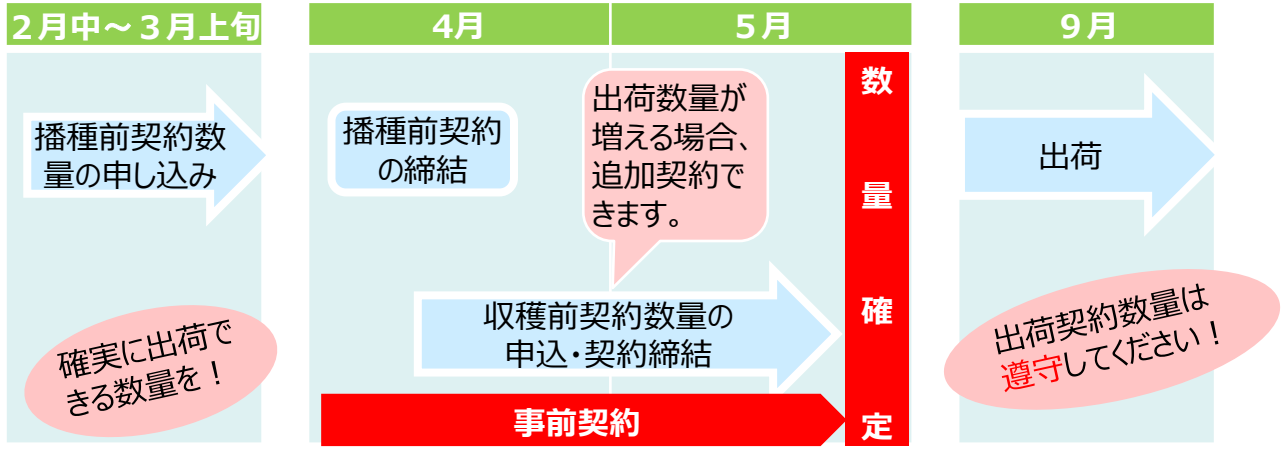
- ◆ 令和2年産米 出荷“契約”が始まります！
- ◆ 米価安定に向け生産調整(転作)を進めましょう
- ◆ 令和2年産 市場出荷向け園芸作物の作付とりまとめ
- ◆ 令和2年度 JAレーク伊吹営農軽油対策奨励について
- ◆ 農政ダイジェスト

メモ

- ✓ ラウンドアップキャンペーン **お早めに!**
3月31日まで
- ✓ 2月中旬～
各地域で農業組合長会議が開催
播種前契約数量の申込について
- ✓ 確定申告お忘れなく!
申請期間 2月17日(月)～3月16日(月)まで
- ✓ 農業融資キャンペーン受付中!

JALーク伊吹では、出荷数量を事前に把握し、需要量を早期に確保することで、有利販売へと繋げることを目的とし、令和2年産米も「事前契約（播種前・収穫前）買取販売方式」に取り組みます。しっかりと作付け計画を立てて頂くことが、有利買取販売の実現に繋がります。

出荷契約スケジュール



重要!

事前契約（播種前・収穫前）を締結することで、有利販売が可能となることから、JAと事前契約がない米穀は、買取価格が下がります。

農家所得増大に向けての取り組み

コシヒカリロット契約・・・出荷契約においてコシヒカリ（特裁含む）の契約数量が300袋以上の場合に取組いただけます。5月末までに事前契約した契約数量に対して出荷率に応じた加算金単価を適用。地場出荷（10月末までに出荷）または施設出荷にて農産物検査において1.2.3等に格付けされた玄米が対象となります。詳細は営農経済担当に問い合わせ下さい。

2月中旬頃に農業組合長会議が開催され令和2年産米の出荷申出が始まります。

今年も1袋でも多くJAへ出荷を宜しくお願いします。

出荷申出書、カントリー利用申込書、水田活用米穀申込書の提出期日は**3月9日(月)**となります。



米価安定に向け生産調整（転作）を進めましょう

国民一人当たりの米消費量の減少や人口減少に伴い主食米の需要は年々減少傾向にあります。農業再生協議会から令和2年産米の生産目標及び転作率が示され、米価安定のために今後も計画的な生産調整が必要となります。令和2年産米においても各地域ごとの転作率に準じ、交付金を活用した生産調整を行い安定経営に努めましょう。

米

令和2年産水田活用米穀(加工用米・輸出用米)の取組み

米の需要に応じた生産・販売を推進する為に、令和2年産米においても水田活用米穀(加工用米・輸出用米)で取り扱いを致します。水田活用米穀についてはJAに一任して頂き、配分を行います。輸出用米は、実需者からの要望で、高ロットかつ均質な出荷が必要な為、施設荷受のコシヒカリ・日本晴とします。

米価の安定の為に生産調整が必要です

参考

生産調整面積から必要数量を算出する計算方法

必要とする生産調整面積 地域の基準単収※ 必要とする袋数

$$\boxed{a} \times \text{〇〇〇 kg/10a} \div 30\text{kg} \div 10\text{a} = \boxed{\quad} \text{袋}$$

※ 地域の基準単収は農業再生協議会が定める地域ごとの単収となります。

※ 1袋に満たない場合は切り上げます。

主な水田活用の直接支払交付金

対象作物	交付単価
① 加工用米	20,000円/10a
② 輸出用米	20,000円/10a
③ 麦・大豆	35,000円/10a

認定農業者、集落営農、認定新規就農者
の場合は下記の交付金も対象となります。

畑作物の直接支払交付金（ゲタ対策）

面積払（数量払の先払い）

麦・大豆 20,000円/10a



数量払

品質区分に応じた単価設定

麦・大豆

生産者手取り(イメージ)

① 水田活用の直接支払交付金	20,000円/10a	+	8,094円/60kg	} ※
② 新市場開拓米の産地交付金	20,000円/10a	+	8,094円/60kg	
③ 水田活用の直接支払交付金	35,000円/10a	+	畑作物の直接支払交付金(条件有)	

注) 交付金の種類により交付時期は異なります ※参考 R1年産水田活用米穀買取価格（1等米）

令和2年産 市場出荷向け園芸作物の作付とりまとめ

J Aレーク伊吹では、地場野菜の需要のあるブロッコリー、白かぶ、かぼちゃ、加工業務用タマネギ・花卉等を重点品目と位置づけ、技術の確立・集出荷の仕組みの確立による産地づくりを行っています。

市場出荷向け野菜の品目紹介

分類	品目
夏野菜	かぼちゃ まくわ なす
秋冬野菜	ブロッコリー 白ネギ かぶ 里芋
加工業務用	タマネギ キャベツ
花卉	小菊 切り花葉牡丹 リンドウ
果実・果樹	いちご 柿 イチジク

拠点型 野菜集出荷施設の設置
と予冷庫の設置



R1年産から、鮮度を保つために
野菜集出荷場に予冷庫を設置
し、遠地市場へのお荷を開始。
産地ピーアールを進めています



管内の販売高が高い作付け品目

順位	販売規模 (千円)
1位 加工タマネギ	約29,000
2位 いちご	約16,000
3位 ブロッコリー	約7,000
4位 花卉	約6,200
5位 白ネギ	約6,000

特産振興
JAが目指すところ

- ✓ 米に続く園芸品目の育成
- ✓ 安心して栽培できる体制づくり
- ✓ 認知される特産物の育成

- ✓ 新規作付けで、上記品目の市場出荷野菜を取り組まれる方はお知らせ下さい。
- ✓ 新規作付けで、上記品目以外の市場出荷野菜の作付をお考えの方はお知らせください。
- ✓ R1年産 市場出荷向け野菜を作付けされた方は、3月にR2年産作付け野菜の予定品目・面積取り纏めを行い、品目ごとに作付け案内をさせていただきます。

令和2年度 JAレーク伊吹営農軽油対策奨励について

JAレーク伊吹では担い手農家の燃料費用の負担軽減のため、JAレーク伊吹が供給する軽油（軽油取引免税証を利用）を対象に、営農軽油対策奨励を行います。

- ✓ 対象期間
令和2年3月1日～令和2年11月30日
- ✓ 奨励対象者
TAC、営農経済渉外が訪問する農家で免税軽油取引数量400ℓ以上の利用
- ✓ 奨励金
対象期間中に購入いただいた軽油1ℓ当たり5円（税込）の奨励を行います。
- ✓ 奨励金支払日
・支払時期 令和2年12月
・支払方法 JA口座へ入金



期間中400ℓ以上の利用
に対して奨励いたします！！

免税の手続きについて

令和2年4月以降に使用される免税軽油の手続きは、東北県税事務所にて2月3日(月)より受付されています。

免税軽油の申請・お問い合わせ先
東北県税事務所
長浜市平方町1152-2
0749-65-6608

農政ダイジェスト

農業・地域の雑誌「地上」より抜粋

～定価（税込）618円 購読申込受付中～

地球温暖化により白未熟粒が増える

茨城大学などの研究グループは、これまでのペースで温室効果ガス排出量が増加すると、2040年代には全国で「コシヒカリ」の白未熟粒が、10年代の2倍の12.6%に増えるとの予測を発表した。

年末恒例「野菜の総括」が発表

タキイ種苗(株)(京都府)は11月に、男女310人を対象に実施した「野菜」に関する調査結果を発表した。今年は「SDGs」や「食品ロス問題」にたいする意識や人々の行動についても調査し、女性の約半数が食品ロスを意識し、バラ・少量や規格外・訳あり品の販売を望んでいることがわかった。

世界の平均気温、2～3番目の高さ

WMO(世界気象機関)は、2019年の世界の平均気温が観測史上2～3番目の高さになるとの分析を発表した。また、この10年間の平均気温が観測史上最も高くなるとの見通しも明らかにした。地球温暖化の現状が改めて浮かび上がった。

農業生産基盤強化プログラムが決定

政府は安倍晋三首相をトップとする農林水産業・地域の活力創造本部の会合を開き、輸出向けの産地形成や担い手不足などに対応する「農業生産基盤強化プログラム」を決定した。プログラムは11本の柱で構成され、輸出拡大に向けた新戦略などが掲げられた。

EUとEPAで特定の輸出品目が上昇

JETRO(日本貿易振興機構)は、19年2月に日本とEU(欧州連合)とのEPA(経済連携協定)が発行されたことを受け、EUの日本産食品・農林水産物の輸出状況をまとめた。2～9月の輸出額が、日本円換算で緑茶が約18億円、牛肉が約14億円で、前年の同期に比べてそれぞれ17.2%、35.5%伸びた。